

INFORMATION

■ 症例検討会のご案内

北九州市立医療センターでは、地域の医療従事者の方々と一緒に医療技術向上のため、下記のとおり症例検討会を実施しています。

症例検討会名・開催日	時間・場所
■ 乳腺テクニカルカンファレンス 毎月 第2・4月曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
乳腺外科・放射線科・病理診断科の医師、放射線技師、臨床検査技師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 呼吸器カンファレンス 毎週 火曜日開催	時間：17時～18時 場所：別館6階 講堂
呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 消化器カンファレンス 隔月 第3木曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
消化器内科・消化器外科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■ 周産期症例検討会 奇数月 第3水曜日開催	時間：19時～20時30分 場所：別館6階 講堂
産婦人科・小児科・小児外科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	

※ 日程は都合により変更・中止になる場合がございます。事前に医療連携室へご確認の上、ご参加いただければ幸いです。
検討ご希望の症例がございましたらぜひご参加下さい。皆さまの多数のご参加をお待ちしております。
参加申し込みは不要です。(医療連携室 TEL：093-533-8660〈直通〉)

■ 地域医療従事者研修会のご案内

日程	テーマ	講師
5月23日(木)	「現場で役立つ呼吸ケア」 ー吸入療法のHow Toー	集中ケア認定看護師 増居 洋介
6月27日(木)	「がん免疫薬物療法について」	腫瘍内科主任部長 若松 信一 がん化学療法看護認定看護師 小長光 明子
7月25日(木)	「放射線治療について」 ・放射線治療について 当院の現状と今後 ・治療完遂を支援する看護師の役割	放射線科部長 野々下 豪 がん放射線療法看護認定看護師 樫田 美香

▶ 場 所：北九州市立医療センター 別館6階講堂
▶ 時 間：18時30分～(1時間～1時間30分程度)

※事前の申し込みは必要ありません。
【問い合わせ先】医療連携室 TEL.093-533-8660(直通)

■ 市民公開講座のご案内

テーマ 白血病のおはなし
診療科 内科(血液部門)
場 所 北九州市立商工貿易会館
2階多目的ホール
日 時 5月11日(土)
受付開始：13時30分～
講 演：14時～16時
参加費 無料(事前申込不要)

【問い合わせ先】
事務局 管理課
TEL.093-541-1831(内線3104)

※事前の申し込みは必要ありません。

輪

北九州市立医療センターニュース「輪」
第73号 2019年4月26日発行

<基本理念>

わたしたちは公共的使命を自覚し
心のこもった最高最良の医療を提供します

編集長：尼田 覚

© 2019 北九州市立医療センター /
本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為は
ご遠慮ください。

編集後記 新たな北九州市立医療センターが始まりました。新たな出会いの始まりです。73号は新しい当院の顔をたくさん載せました。当院の野球部も新たなメンバーが加入して今年も北九州メディカルリーグの戦いが始まりました。新入職のメンバーもいます。その一人は1996年に当院で生まれたそうです。その頃の私は月20日ぐらい病院に泊まりこみ年間900あった分娩の多くに立ち会っていました。もしかしたら目の前の新人さんが世の中で最初に出会ったのが私だったのかとも思うと不思議な出会いです。(尼田)

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号 北九州市立医療センター
TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693
http://www.kitakyu-cho.jp/center/

広報委員会「輪」編集委員

尼田 覚 重松宏尚 小園真吾 大津博恵 杉本優子 森崎恵美子
高見将彦 小野達也 木村祥子 佐藤美登里 天野健司 高橋未来美



HP：QRコード



FB：QRコード

輪



北九州市立医療センターニュース

KMMC
Kitakyushu Municipal Medical Center

vol. **73** | April
2019



北九州市立医療センター

CONTENTS

- 01 理事長就任のごあいさつ
- 02 地方独立行政法人化にあたって
院長のごあいさつ
- 03 退任のごあいさつ
新主任部長就任にあたって
看護部長就任にあたって
- 05 2019年 新任医師紹介
- 07 トピックス／2019年度 活動報告
- 08 看護の広場／1階外来
- 09 登録医のご紹介
- 10 医療連携室だより

INFORMATION

症例検討会のご案内
地域医療従事者研修会のご案内
市民公開講座のご案内



〔表紙写真について〕
新しい出会いの春、当院にもたくさんの新人スタッフが加わりました。写真は今年入職となった診療支援部の新人スタッフです。どうぞよろしくお願いいたします。

理事長就任のごあいさつ



地方独立行政法人 北九州市立病院機構
理事長 中西 洋一

2019年4月1日付けで、新たに設立された地方独立行政法人北九州市立病院機構の理事長に就任いたしました、中西洋一です。

私は1980年に九州大学医学部を卒業後、九州大学呼吸器内科学分野教授、胸部疾患研究施設長、ARO次世代医療センター長などを歴任し、2014年より昨年まで九州大学病院経営担当副病院長を務めてまいりました。

このたび、北九州市立病院機構の理事長を拝命することになりました。長年、北九州市民の皆さまの命と健康を支えてきた北九州市立病院の運営を担う責任の重さを実感しております。

北九州市立病院は、「医療センター」において、感染症医療、周産期医療、がん医療等を、「八幡病院」において、小児救急を含む救急医療、災害時における医療等を中心に提供し市民の大きな信頼を得てまいりました。

北九州市立病院機構におきましても、こうした医療提供機能を維持・向上させ、市民の皆さまに安定的かつ継続的に提供していきたいと考えております。

今後、少子高齢化や人口減少による医療需要の変化により、病院経営を取り巻く環境はますます厳しくなることが予想されます。

これまでの経験を活かし、そうした医療環境の変化に柔軟に対応しつつ、効果的かつ効率的な病院運営を行うことにより、医療センターと八幡病院の発展に努力していく所存です。

今後、市民や地域医療機関の皆さまから、市立病院はより良くなったとご評価いただけるよう、最善の努力を尽くしてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



地方独立行政法人化にあたって



院長のごあいさつ

北九州市立医療センター
院長 中野 徹

当院は1873年4月企救郡立病院として開設され145年を経て平成最期の本年4月1日公立病院の殻を脱ぎ、地方独立行政法人化いたしました。令和元年の節目に法人化し新しい組織としてスタートすることに感慨を覚えます。承認された5年の中期計画、2019年度の年度計画につき簡略に纏めます。

計画の骨子は「医療の質の確保と推進」「業務運営の改善と効率化」の2点に集約されます。医療センターは地域医療構想の中で地域支援病院として良質な「がん医療」「周産期医療」「生活習慣病医療」を市民に提供する基本姿勢に変わりありません。

「医療の質の確保と推進」に最も必要とされる項目にあげられているのが優秀な人材の確保と育成です。独法化最大のメリットは適正な人員採用と配置にあり、同規模病院に比較し不十分ではありますが診療支援部の増員がなされました。今後MSW、歯科衛生士などの有資格者の確保と育成も明記されました。この優秀な職員の増員正規化により病院内の機能分化が進み、専門職が本来の業務に専念し医療・看護・技術職・医療安全の質向上が見込まれます。連携室、入退院センターの充実 は地域の医療機関、介護施設の皆さんとのスムーズな前方・後方連携が可能になります。時短勤務など働き方に柔軟に対応する体制の確立も明記されました。職場環境の充実として、働き方改革の観点から職員が働きやすく、やりがいを持ち長く働き続けることができる職場環境づくりに努め、頑張った人が報われモチベーションが維持できる機構を目指しています。

「業務運営の改善と効率化」では全職員が一丸となって病院運営にあたることのできる風土をつくり、経営意識の向上が求められています。人口減の続く北九州医療圏ですが、特徴ある良質で誠実な医療で貢献し、地域に選ばれるセンター病院であり続けることを求められています。財務基盤の安定化は高額医療機器購入更新や新病院建築へと繋がり、継続して良質な医療が地域の方々に提供可能となると思います。



退任のごあいさつ／前 統括部長
山野 裕二郎 | Yujiro Yamano

Thank you for everything

この度3月末をもって65歳定年退職を迎えました。北九州市立病院へは2010年1月若松病院に入職したのがスタートで、同病院に1年3ヵ月、その後2011年4月から市立医療センターに移りちょうど8年、計9年3ヵ月になりました。その間院内外の多くの皆さまに誠にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

診療においては若松病院時代から総合診療を担当してまいりましたが、疾患範囲は広くまた重症度もさまざまでした。主に紹介患者さんを診るようになってからは、一度地域の先生方の目が通った状態でのご紹介でしたから手強い患者さんが多く、問題点が明らかになるまでは緊張の連続でした。ただそこが総合外来を診る医師の醍醐味ではないかと考えています。最終的に診断がつかない患者さんもおられ力不足を痛感していますが、ご紹介くださった先生方、またどんな時でも快く力を貸してくれた当院のスタッフの皆さまにはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

直接診療以外では、連携室の仕事を6年間させていただき、地域の多くの先生方と直接お会いする機会を得ることができましたこと、大変貴重な経験でした。また「輪」の編集にも5年間携わり、そのうち3年間は編集委員長という立場でしたが、(職権を乱用して?)自分の撮った写真を何枚か表紙写真にさせていただきました。ご容赦ください。最後の2年間は診療支援部長として務めさせていただきましたが、支援部の6つの課が医療センターの中でいかに重要な役割を担っているか再認識させられました。

病院は4月に独法化され、その時期に病院を去ることは名残惜しい気持ちですが、5月から新しい時代の幕開け、医療センターおよび地域の先生方の今後の益々のご発展とご健勝を心より祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。



退任のごあいさつ／前 看護部長
大津 博恵 | Hiroe Otsu

Thank you for everything

3月31日で定年退職を向かえました。

看護部長として2年間の在職期間中、地域の皆さまにはいろいろとご指導いただきましてありがとうございました。

看護部長としては2年間の勤務でしたが、1984年に入職以来35年間小倉病院時代からこの病院で勤務させていただきました。私の看護の原点はがん患者さんとの出会いです。小倉病院時代の古い病棟で夜中近くに手術迎えに行っていた日々、乳がん患者会の発足、外来化学療法センターの立ち上げ等、がんに関連する多くのことに関わらせていただきました。

時代の流れとともに人や建物、風景は変化し求められる病院の姿は変化してきましたが、患者さんを始め多くの方々に出会い、学び支えていただいたことに深く感謝いたします。

医療センターにはそれぞれの分野で資格を持った専門職が多く勤務しています。これから他職種が協働、連携して医療・看護の質向上に努め、急性期病院として地域医療を支える力を発揮されることを願っています。

最後に関係する医療機関の皆さまのご発展とご活躍を祈念申し上げます。



循環器内科／主任部長就任にあたって
沼口 宏太郎 | Kotaro Numaguchi

New manager

このたび4月より循環器内科主任部長として赴任いたしました沼口と申します。循環器疾患の中で、急性心筋梗塞の死亡率は迅速なカテーテル治療等により近年低下しています。その反面、心不全の症例が年々増加しており、その多くが、65歳以上の高齢者の方々です。心不全の初期は入院加療で症状が改善・消失するため、心臓は良くなったと誤解されることが多いです。しかし、実際は急性増悪を繰り返すたびに、徐々に治療抵抗性となり、生命を縮めていく病気です。そこで、心不全の急性増悪による再入院を減らすことが重要と昨今考えられています。そのためにも、院内における多職種での包括的な介入だけではなく、地域の医療機関の皆さまとの連携をさらに密なものとし、日々の循環器診療にあたらせていただければと存じます。

地域の皆さまの少しでもお役にたてるよう努めてまいりますので、ぜひともご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



産婦人科／主任部長就任にあたって
衛藤 貴子 | Takako Eto

New manager

統括部長尼田覚医師より産婦人科部長を引き継ぐこととなり、JCHO九州病院より赴任してまいりました。専門は婦人科腫瘍です。新しい抗がん剤など治療法が進歩し選択肢が増えると同時に、治療が長期化し、より快適に社会生活を送るための患者・家族支援も必要となります。また、がんの種類によっては、本人や血縁者に発症しやすい重複がんに留意するなど、広い視点も求められます。コメディカルを含めたチーム医療、地域のかかりつけの先生方などの力をお借りしながら診療してまいりたいと思います。

当院は、北九州地域の医療の中核を担う病院であると認識しております。総合周産期母子医療センター長高島健医師とともに地域のニーズに応えられる産婦人科診療を行うと同時に、産婦人科医不足が続く中、若き産婦人科医を守り育てることも大事にしていきたいと思っています。仕事だけでなく、ヘタながらバレーボールもやりたいのですが…どこか入れて下さるところがあれば、よろしくお願いします！



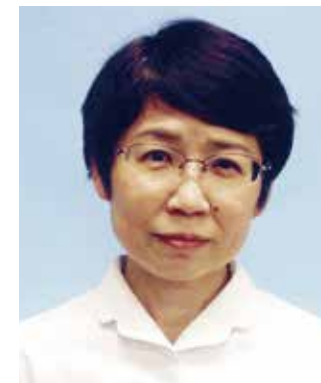
看護部長就任にあたって
林 和子 | Kazuko Hayashi

Greetings

このたび、看護部長を拝命いたしました。大津前看護部長から大役を引き継ぎ、重責に身の引き締まる思いです。看護部では、『わたしたちは生命の尊厳と人間愛を基盤とし人々に信頼される質の高い心温まる看護を提供します。』という看護部理念のもと、思いやりの心を持ち、安全と安心、信頼を高める看護を提供していきたいと考えております。

今年度、当院は地方独立行政法人となり、病院の変革の年となりました。この変革をチャンスとして捉え、看護師の働きやすい環境づくりに努力したいと考えております。そして看護師各自が今一度看護の専門性について問い直し、誇りを持って看護実践に繋げて欲しいと願っています。

患者の皆さまへのより良い安心した医療・看護を実現していくために、さらに地域の医療機関の皆さまとの連携を深めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



Welcome to KMMC

2019年度

新任医師紹介

KMMC期待の新任医師25名です。
皆さんよろしくお願いします。

Question
【質問内容】50音順

Q1.所属診療科
Q2.得意分野
Q3.自己PR

Profile 01 Shin Akagawa



赤川 進

- A1. 外科
A2. 内視鏡手術(特に食道、胃)
A3. 4月より赴任しました。外科の赤川です。上部消化管に対する内視鏡手術を中心に、外科経験を重ねてまいりました。他科の先生方や看護師含めたメディカルとのチーム医療が重要だと考えておりますので、相談しやすい雰囲気作りをモットーに精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします!

Profile 02 Toshiya Abe



阿部 俊也

- A1. 外科
A2. 消化器外科一般
A3. 4月より赴任いたしました阿部俊也と申します。直近2年間は米国ジョーンズ・ホプキンス大学で膵がんの早期発見に関する研究を行っていました。皆さまのお役に立てるよう全力を尽くして行く所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 03 Kenta Ishimoto



石本 健太

- A1. 小児外科
A2. 小児外科一般
A3. 4月から赴任いたしました石本と申します。子どもたちの笑顔のため、全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 04 Shusaku Inoue



井上 修作

- A1. 産婦人科
A2. 婦人科の疫学を少し
A3. 1982年に当院で生まれ、高校卒業まで北九州市内で過ごしました。2007年から4年間、初期研修医、産婦人科医として当院で勤務しておりました。北九州市を盛り上げるために頑張ります。よろしくお願いいたします。

Profile 05 Hiroyuki Inoue



井上 裕之

- A1. 泌尿器科
A2. 泌尿器科一般
A3. 宮崎県立宮崎病院から赴任いたしました。1年ぶりの福岡県内での勤務です。微力ながら地域の皆さまのお役に立てるよう精いっぱい頑張りますのでよろしくお願いいたします。

Profile 06 Toshiyuki Ueno



上野 稔幸

- A1. 血液内科
A2. 血液疾患一般
A3. 4月から当院に赴任しました上野と申します。地元である北九州で勤務する機会をいただき、大変嬉しく思っています。少しでも皆さまのお役に立てるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 07 Yasufumi Uehara



上原 康史

- A1. 内科
A2. 内科一般、血液疾患、造血幹細胞移植
A3. 4月より北九州市立医療センターで勤務させていただきます。血液内科の上原康史と申します。医療センターが持つ高度な医療体制に貢献できるよう研鑽を積んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 08 Haruka Eto



衛藤 遥

- A1. 産婦人科
A3. 今年度より北九州医療センターで働くことになりました。今年専門医試験受験予定ですので頑張ります。よろしくお願いいたします。

Profile 09 Masanari Ota



太田 昌成

- A1. 整形外科
A2. 膝関節、外傷
A3. 初めまして。この度、北九州市立医療センター整形外科に赴任することになりました太田昌成と申します。まだ若輩ですが、精いっぱい頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 10 Kohei Otsubo



大坪 孝平

- A1. 呼吸器内科
A2. 呼吸器内科一般、肺がん薬物療法
A3. 九州大学病院より赴任しました大坪と申します。皆さまのお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

Profile 11 Hirofumi Onitsuka



鬼塚 大史

- A1. 心臓血管外科
A2. 心臓血管外科一般
A3. 患者さんが安心して手術を受け、退院後の生活にも憂いがないように質の高い医療を提供できるように全力を尽くしたい。

Profile 12 Daisuke Kakiyara



柿原 大輔

- A1. 放射線科
A2. 腹部画像診断、腹部IVR
A3. 九州大学病院勤務を経て、2年2か月ぶりに北九州市立医療センターに戻ってまいりました。この経験を生かして、これまで以上に皆さまのお役に立てるよう、全力を尽くしてまいります。特に、腹部画像診断/IVRについてはお気軽にご相談ください。

Profile 13 Naofumi Kasai



笠井 尚史

- A1. 放射線科
A3. 放射線科の笠井と申します。診断部門です。少しでもお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。

Profile 14 Hirofumi Kuga



空閑 啓高

- A1. 外科
A2. 肝胆膵外科
A3. 11年ぶりにお世話になることになりました。非常に難しいことですが、患者さん、紹介医の先生、病院と一緒に働く職員の方々など周りの皆さんが幸せな気持ちで笑顔になれるように日々頑張っていければと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 15 Hiroaki Kurata



倉田 浩昭

- A1. 小児科
A2. 新生児
A3. 北九州市で安心して出産・子育てができるように、少しでもお手伝いできたいと思っています。

Profile 16 Keiko Sakamoto



坂本 佳子

- A1. 皮膚科
A3. 初めまして。4月1日から赴任します、皮膚科の坂本佳子と申します。2014年以来の北九州市立医療センターでの勤務に緊張しておりますが、一生懸命診療させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 17 Yuzo Shimokawa



下川 雄三

- A1. 消化器内科
A2. 膵臓・胆道疾患、胆膵内視鏡治療
A3. 4月より赴任致しました下川雄三と申します。私自身学生時代に膵炎の既往があり、現在は膵臓・胆道疾患を専門にしています。小倉での勤務は初めてですので慣れない点もあるかと思いますが、より良い診療を提供できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

Profile 18 Osamu Jyono



城野 修

- A1. 整形外科
A2. 人工(股・膝)関節手術
A3. 医師になって1年目以来四半世紀ぶりに北九州市立医療センターに戻ってきました。患者さんの期待に少しでも答えられるように患者目線での医療を心掛けたいと思います。

Profile 19 Shin Takesue



武居 晋

- A1. 外科
A2. 消化器外科一般
A3. 4年振りに当院へ戻ってまいりました。外科医として地域の皆さまのお役に立てるよう全力で頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 20 So Nakamura



中村 聡

- A1. 外科
A2. 消化器外科一般
A3. 4月から赴任致しました中村と申します。外科医として地域の皆さまに寄り添った診療を心掛けております。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 21 Masataka Hayashi



林 昌孝

- A1. 外科
A2. 外科一般
A3. 4月より赴任しました林昌孝と申します。初めての北九州での生活、市立医療センターでの日々に期待が膨らむと同時に身の引き締まる思いです。少しでも患者さんに満足していただける質の高い医療を提供していけるよう研鑽していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 22 Shinichiro Fukuda



福田 慎一郎

- A1. 消化器内科
A2. 内視鏡検査・治療
A3. この度、医療センター消化器内科に赴任となりました。福田慎一郎と申します。これまで長崎、福岡、神奈川と地域を転々とし、診療を行ってまいりました。2017年に九州大学第三内科に入局いたしましたので、今後は福岡の医療に少しでも貢献できるよう、精進してまいりたいと思います。

Profile 23 Yusuke Matsumura



松村 祐介

- A1. 糖尿病内科
A2. 内分泌、代謝、糖尿病
A3. 前職場も北九州で、引き続き地域の糖尿病・内分泌診療に貢献できるよう尽力いたします。糖尿病患者さん一人ひとりの病態に沿った治療を、難しい内分泌疾患も患者さんへ分かりやすく説明することを、心掛けます。

Profile 24 Hiroto Maruoka



丸岡 浩人

- A1. 消化器内科
A2. 消化器一般
A3. 皆さん初めまして丸岡浩人と申します。医師になり12年目になります。今まで内視鏡をメインに消化器内科医として医療を行ってきました。生まれてから20年間小倉で過ごし地元で医療ができることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

Profile 25 Kumiko Mukae



迎 久美子

- A1. 内分泌代謝、糖尿病内科
A2. 糖尿病の治療など
A3. 4月から着任いたしました。最近、糖尿病は患者さんがかかっている他の病気や生活の状態を考えて治療を行いましょうという治療方針が変わってきています。一人ひとりにあった治療を提案できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

2019年度 活動報告

TOPICS
トピックス

3/2 大規模災害に備えて

2018年度は、当院で初めて地震などの「大規模災害」を想定した大規模な実働訓練を行いました。小倉北消防署に協力いただいて、各エリアと本部の連携、本部と外部の連携、外部からの患者受け入れなどを行い、実際の手順を確認しました。訓練終了後には各エリアごとに反省点等を挙げ、今後の当院の災害対策を進めるにあたりよい機会となりました。



3/20 退職者を送るうべ

2018年度をもって定年退職を迎える4名（医師1名、看護師2名、臨床検査技師1名）の仲間をお祝いするため、3月20日に「退職者を送るうべ」を開催しました。長い間お疲れさまでした。最後は出席者全員で送り出すことができました。



4/1 辞令交付式

新年度となり、地方独立行政法人となり、当院に新しい138名のスタッフが加わりました。新体制となった北九州市立医療センターを今後ともよろしくお願いいたします。



新任医師の皆さま



辞令書交付



主任部長との顔合わせ

4/1 ユニフォームが変わりました

ユニフォームが変わりました

看護職や医療技術職のユニフォームが変わりました。看護職は、看護師がエンジ色で、看護補助をサックスブルーに、薬剤師・臨床検査技師・放射線技師などの医療技術職は白または紺のユニフォームに変更しています。機能性を向上させ着脱しやすくなったほか、リース化によって、毎日清潔な被服を着れるようになりました。



看護補助

医療技術職

看護師

看護の広場

1階外来

外来看護

～あったかい、つなぐ看護を目指して～



1階外来 看護師長 茶屋本 和子

外来看護の基本方針は、「患者さんの立場に立った医療と、安心して受診できる外来看護を実践する」です。1階外来には、内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌代謝・糖尿病内科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科と、すべての外来の採血・処置を実施する中央処置室があります。1日約1,000人の受診者の内、400人が1階外来に来院されます。外来看護職員は、41名でそれぞれ助け合いながら、それぞれの個性が発揮できるチームづくりを目指しています。

在院日数の短縮、外来治療への移行に伴い、外来看護の質の向上が、求められています。外来看護師は、迅速な対応・判断を求められ、また、在宅支援の必要な医療依存度の高い患者さんのセルフケア指導の能力も求められています。退院後の問題点について病棟と外来、そして地域により緊密な連携を図る必要があります。

2018年、医療連携室開催の訪問看護ステーション連絡会議に参加しました。当院の取り組みの紹介・事例検討・困ったこと等意見交換する場として有意義なものでした。顔の見えるネットワーク作りは、情報共有や問題点の把握等、より連携が充実することに繋がり、看護の継続により患者さんも安心して在宅で過ごせるのではないかと思います。患者さんのQOLを維持しながら安心して治療に臨めるように、今後も専門的な知識・技術の向上はもちろん、病棟・他職種との連携、在宅支援を行いながら、患者さんやご家族に、心のこもった“つなぐ看護”を提供できるように努力してまいります。



2ステーション：呼吸器内科、膠原病内科、内分泌代謝・糖尿病内科外来スタッフ



1ステーション：耳鼻咽喉科外来スタッフ



中央処置室スタッフ



1ステーション：整形外科外来スタッフ



2ステーション：内科、循環器内科外来スタッフ



1ステーション：皮膚科外来スタッフ



登録医のご紹介

Clinic
1

藤島クリニック

INFORMATION

所在地：小倉北区大門2丁目1番10号
T E L：093-561-2321
F A X：093-561-7788

院 長：藤島 八重
診療科目：内科、神経内科
循環器内科



院長
藤島 八重



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	×
15:30~18:00	○	×	○	○	○	×	×

※火曜日、土曜日は午前中まで



アピールポイント

1985年に神経内科の先代院長が大門に開業し、1994年に循環器内科の私が継承しました。高血圧診療に特に力を入れています。かかりつけ医として地域の方のお役に立てよう努めるとともに、街中であって近隣にお勤めの方が多いこともあり、現役世代を心血管イベントから守ることも大きな使命と考えています。

市立医療センターへの一言

医療センターに対する患者さん(市民)の要求レベルは高いと感じますが、医師はじめスタッフの皆さんはしっかりそれに応えておられると感服しています。受診時、入院時の迅速な対応、丁寧なお返事に感謝しております。今後ともよろしくお願いたします。

Clinic
2

ケーズクリニック 皮膚科

INFORMATION

所在地：小倉南区葛原本町1丁目6番17号
T E L：093-981-6167
F A X：093-981-5299

院 長：岩田 賢治
診療科目：皮膚科
美容皮膚科



院長
岩田 賢治



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	×
14:30~18:00	○	○	×	○	○	×	×

※水曜日、土曜日は午前中まで

※美容部門は一部を除き完全予約制となっております。



アピールポイント

皮膚のことなら、何でもご相談下さい。(日本皮膚科学会認定皮膚科専門医)さまざまな症状に対して最適な治療プランを提案します。また、美のサポートも行っております。「肌を健康的に、美しくすることで、健やかで楽しい人生を送る人を増やしたい」という思いで診療を行っております。

市立医療センターへの一言

かかりつけ医として、医療センターと連携を取りながら必要な情報共有を行い、患者さんにとってより良い、質の高く安全な診療を行っております。

平素より、当院の地域医療連携につきまして、ご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
2019年4月1日より「地方独立行政法人 北九州市立病院機構 北九州市立医療センター」として新たな一步を踏み出しました。

医療連携室では4月の人事異動に伴い、新たな体制で2019年度をスタートしました。

連携室長の岩下俊光副院長、地域医療連携推進担当部長の尼田覚統括部長のもと新たに地域医療連携推進担当課長に大津博恵を迎え、今後ますます地域の先生方との連携機能を充実させてまいりたいと思っております。

当院は約600名の地域の先生方に登録医として登録いただいております。地域医療支援病院として高度医療機器や開放病床のご利用も可能です。

また、地域医療従事者研修会は、医師、歯科医師や薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、リハビリスタッフ、訪問看護師等地域の医療従事者の方々を対象として開催しています。申し込みは不要となっておりますのでぜひご参加ください。FAXにてのお知らせのほかホームページにも年間の予定を掲載しております。

「連携ネット北九州」もかかりつけ医の先生方と当院の切れ目のない医療の情報共有のため、さらに充実させていきたいと考えております。

医療連携室一丸となって努力してまいりますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携推進担当係長 佐藤 美登里



【医療連携室】

TEL 093-533-8660(直通) FAX 093-533-8718

<http://www.kitakyu-cho.jp/center/>

医療連携室だより

医療連携を基本に業務内容の充実を図り、地域医療機関、患者さん、職員から安心して頼りにされるよう取り組んでいます。